

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の見直し（案）について

1 目的

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（以下「教育委員会点検・評価」という。）については、令和7年度に策定した教育委員会の分野別個別計画（「第4次学校教育振興基本計画」、「第4次特別支援教育実施計画」、「第7次生涯学習推進計画」、「第4次図書館基本計画」、「第5次子ども読書活動推進計画」）において、施策体系が変更したことから、評価体系の見直し等を行う。

2 見直し内容について（前回第22回教育委員会定例会で示した見直し内容は省略する）

前回の教育委員会定例会での教育委員からの意見も踏まえ、「より分かりやすい」「より評価しやすい」点検・評価表となるよう、以下のとおり変更する。

（1）点検・評価表について【別紙①参照】

① 表記方法について

- ・「達成目標」「取組状況」「結果」については、視覚的にも読みやすく、分かりやすい「箇条書き」で表記する。
- ・重点的な取組が分かるよう、〔重点〕と明記する。

② 評価がしやすくなるための変更について

ア より具体的な内容を記載する

「目標を達成したかどうか」を評価基準に掲げていることから、「達成目標」や「取組内容」をより具体的に記載する。また、「達成目標」から「課題」までは、一連の流れが分かるような記載に努める。

イ 「成果」から「結果」に変更する

これまで「成果」として記載してきたが、良かったこと・好ましかったこと等に偏りがちな内容が記載され、目標を達成したかどうかを判断するうえで、不明瞭なケースが多かった。このため、項目名を「結果」として、目標達成に向け取組んだ“結果”（目標を達成したか、しなかったのか）について具体的に記載する。

ウ 取組んだ「結果」や「指標」に基づいた「総合評価」とする

『達成目標に対する取組状況や結果に基づく評価』と、『当該年度に設定された目標値（指標）の達成状況に基づく評価』の2つの評価を勘案した「総合評価」とする。

3 今後のスケジュール（予定）

令和8年 1月 教育委員会定例会にて、見直し（案）決定

2月 新様式による点検・評価表（令和7年度分）事務局案の作成開始

4月 教育委員会定例会にて、点検評価方針の協議

（以後、通常のスケジュールで進める）

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の見直し（案）について

別紙①

●教育委員会施策の点検・評価表（案）

左ページ		記載例		右ページ	
<第4次学校教育振興基本計画>					
施 策	○(番号)	○○○○○○○○	担当 課	○○課	
1 目的					
目的	<p>計画期間における施策の「目的」を記載します (原則として「分野別個別計画」の「施策の展開」を転記します)</p>				
2 当該年度の達成目標					
達成 目標	<p>「達成目標」を具体的に記載します (例)・朝の児童の居場所づくり事業を試行的に実施する小学校○校を選定し、実施に向けた各種取組を進めます。〔重点〕</p>				
3 取組状況と結果と課題					
取組 状況	<p>「取組状況」を具体的に記載します (例)・朝の児童の居場所づくり事業を進める他市の実態を調査研究するとともに、仕様内容や事業実施マニュアル等を作成しました。</p>				
結果	<p>取組んだ「結果」を具体的に記載します (例)・学校始業前における児童の安全で健やかな居場所づくりや、「朝の小一の壁」の課題解決につなげるため、令和8年度から実施する小学校○校を選定しました。</p>				
課題	<p>結果を踏まえた「課題」を具体的に記載します (例)朝の児童の居場所づくり事業に従事する人材に地域的な偏在があり、事業を拡充していく上で、人材確保に課題があります。</p>				
4 評価					
評 価	B	評 価 理 由	<p>①達成目標に対する取組内容や結果による評価 ②指標の達成状況(右ページ)による評価 ⇒①と②に基づく『総合評価』を記載します。</p> <p>(例)朝の児童の居場所づくり事業では、目標とする取組を実施できましたが、指標は○○%と目標値を達成することができず、一部課題があるため、B評価としました。</p>		
5 次年度の方向性					
次 年 度 の 方 向 性	<p>評価を踏まえた「次年度の方向性」を具体的に記載します (例)朝の児童の居場所づくり事業の実施校を拡大していくため、各校調整や、人材確保に向けた課題整理に努めていきます。</p>				